

質問回答

2015年6月15日

「エチオピア国バハルダール市上水道整備計画調査」

(公示日:2015年6月3日 / 公示番号:150394)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	<p>本紙 p. 3 第5条 プロポーザルに記載されるべき事項 3 業務従事予定者の経験、能力等 (2) 評価体操業務従事者の経験、能力等 【業務従事者:担当分野 施設設計 / 施工】 2) 対象国又は同類似地域</p> <p>及び</p> <p>p. 9 プロポーザル評価表 (2)業務従事者の経験・能力:施設設計 / 施工 イ)対象国又は同類似地域での業務経験の配点</p>	<p>語学評価対象外となる「施設設計・施工」担当者について類似地域での経験が評価項目となっておりますが、これは、貴機構が2013年11月15日以降の公示案件から適用する「国内経験重視の評価対象業務従事者の設定」で、語学と共に対象国(類似地域)での業務経験も評価しないとの方針と異なる指示になっております。</p> <p>つきましては、業務指示書の当該評価項目につきましては、訂正頂けるものと理解いたし、その点につき確認申し上げます。</p>	<p>ご指摘のとおりです。「全途上国」を「全世界」に訂正します。なお、評価表における配点に変更はありません。</p>
2	<p>別紙 p.6 3) 環境社会配慮に係る調査</p> <p>及び</p>	<p>貴機構が2010年に実施した他調査の報告書によれば、2009年にエチオピア国アムハラ州において独自のEIAガイドラインが制定されています。この報告書の記載されたアムハラ州でのEIA適用条件から、本業務の対象となる水道事業では、貴機構が分類した環境社会配慮カテゴリー-Bで求められ</p>	<p>ご指摘のとおり本事業規模は、EIAが必要となる可能性があります。別紙p.9の3)に記述のある「その他必要と考えられる自然条件調査」のとおり、プロポーザルにて提案頂</p>

	<p>p.9 4) 環境社会配慮事項等に係る調査</p>	<p>る初期環境調査(IEE)ではなく、本格的な環境影響評価(EIA)が現地実施機関に対して求められることになると想定されます。この実施機関による EIA (ステークホルダー協議を含む)の実施を支援するためには、多くの現地リソースを活用する必要があります。この様な状況下における環境社会配慮支援調査については、別紙 p.9 の 3)に記述のあるその他必要と考えられる自然条件調査同様にプロポーザルにて提案し、他の自然条件調査や社会調査と同様に再委託として別見積もりにて必要費用を計上させて頂くという扱いでよろしいのでしょうか。</p>	<p>き、他の自然条件調査や社会調査と同様に再委託として別見積もりにて必要費用を計上してください。</p>
3	<p>(別紙1) 自然条件等調査仕様書 2. 内容 オ. 測量調査</p>	<p>業務指示書別紙1の自然条件等調査仕様書では、路線測量延長を「36km 程度」と記載されていますが、「エチオピア国都市給水に係る情報収集・確認調査」p.61の表3-25によると、Amaesena 配水池までの送水管14kmと配水管31,113mが計上されており、合計で45km程度となります。この延長の差は、一部区間が重複となっているという理解で間違いはないでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、測量調査の路線延長は「36km 程度」から「45km 程度」に変更いたします。</p>

以上